

一般社団法人 日本医療機器学会

2022 年度第 2 回理事会 議事録

日 時：2022 年 7 月 15 日（金）15:00～17:00

場 所：医科器械会館 2 階 セミナーホール（東京都文京区本郷 3-39-15）

出席者：高階 雅紀理事長、林 正晃副理事長

青木 郁香、東 竜一郎、植竹 茂、臼杵 尚志、加藤 伸彦、川本 武、
久保田 英雄、小西 賢三、小林 直樹、酒井 順哉、住谷 昌彦、中島 章夫、
中野 壮陸、根本 裕司、深柄 和彦、福田 修一、松田 和久、松原 一郎、
南 正人、美代 賢吾、安原 洋、矢富 裕、の各理事
新 秀直、本田 宏志、の各監事

欠席者：高橋 典彦

事務局：岩田 誠、寺嶋 秀之、桑原 祐子、池野谷 崇臣

1. 開会宣言、議事録の確認及び議事録署名人の指名

冒頭、理事長が慣例に従い、議長として開会（会場・Web 併用会議）を宣した。

- 1) 定足数と出席理事の確認：定款第 36 条により理事 25 名の内過半数の 24 名が出席、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。
- 2) 2022 年度第 1 回理事会議事録(2022 年 4 月 18 日開催)の内容確認の要請あり、出席者全員により確認された。
- 3) 本会の議事録署名人は、定款第 37 条により理事長及び本日出席の新監事及び本田監事を指名する旨の報告があり、出席者全員異議なくこれを承認した。

2. 委員会関連事項

1) 総務委員会（林委員長）

(1) 会員数の推移（入会者の承認・退会者の確認）

委員長より、資料(名簿別添)に基づき会員数の推移について報告があった。本日現在の会員数は、名誉会員 9 名、功労会員 0 名、正会員 6,224 名、企業会員 290 社。前年同期比で正会員 82 名増加の報告があり、出席者一同これを承認した。

(2) 個人正会員の入会について（推薦者なし、個別承認分）

推薦無し新規個人正会員として 5 名の入会申込みがあり、審議した結果、個人会員の入会を出席者一同承認した。

(3) 協賛・後援・共催依頼実績

協賛・後援・共催依頼実績は、資料に基づき、協賛依頼 3 件、後援依頼 7 件、共催依頼 0 件と報告され、出席者一同これを追認した。

2) 将来構想委員会（深柄委員長）

委員長より、学会ホームページへの動画コンテンツ掲載の推進、メディカルショーにおいて、設定したテーマに沿った展示の開催や企業同士・会員同士のコミュニケーションの場

の設定等、委員会内で更に意見交換を進めて行く旨報告があった。

3) 編集委員会（住谷委員長）

委員長より、8月に委員会を開催する予定との報告があった。

4) 学術委員会（安原委員長）

(1) 安全対策委員会（南委員長）

委員長より、研究会以外に新たなことが出来ないか検討中であるとの報告があった。

(2) クリニカルエンジニアリング委員会（加納委員長代理、中島委員）

委員長代理より、資料に基づき6月25日(土)に第1回クリニカルエンジニアリング研究会を開催した旨報告があった。

【臨床ME 専門認定士合同認定委員会】（酒井委員）

特に無し

(3) 機器と感染カンファレンス委員会（長瀬委員長代理、高階委員）

委員長代理より、資料に基づきコロナ禍で開催が流動的であるものの第31回以降のカンファレンスを開催予定であるとの報告があった。

(4) 病院サプライ研究会（久保田委員長）

委員長より、7月28日(木)に第1回目の委員会を開催するとの報告があった。

(5) メンテナンスマニュアル出版委員会（上寺委員長代理 安原学術委員長）

特に無し

5) 滅菌技士認定委員会（高階委員長）

委員長より、第1種・第2種の滅菌技師(士)受講者募集をスタートしたこと、および「医療現場における滅菌保証のガイドライン 2021」について様々な意見を受けており、次のガイドライン改定に向けて準備作業を進める旨報告があった。

6) 広報委員会（久保田委員長）

委員長より、7月21日(木)に第1回目の委員会を開催すること、また、パンフレット作成やSNS活用について検討を進める旨報告があった。

7) 国際委員会（青木委員長代理、高階委員）

(1) 2022AAMI 年次大会報告

委員長より、長澤氏(現地調査員)がAAMIに参加したレポートを8月号学会誌に掲載すること、また来年のAAMI(2023年6月16日~19日、於ロングビーチ)での2セッションについての構想を10月を目処に固める必要がある旨報告があった。

[ISO/TC198 国内対策委員会]（東委員長）

特に無し

8) 医療機器UDI 標準化委員会（酒井委員長）

委員長より、2019年6月に一般病床300床以上を対象に医療材料の受発注の現状と院内でのバーコード利活用についてアンケート調査した実態概要を、「医療機器学」総説として本年6月号に掲載したこと、また、本年4月から6月にかけて一般手術用鋼製器具で海外製品を取り扱っている製造販売業者40社に対して、鋼製器具本体2次元シンボル表示の実態をアンケートしたところ26社(65%)から回答があり、その集計結果については次回の理事会で説明する旨の報告がなされた。

9) MDIC 認定委員会（臼杵委員長）

(1) MDIC 認定委員会活動報告

委員長より、資料に基づき、2022 年度第 15 回認定セミナー受講申込み開始の件、ならびに 2 年に 1 度のセミナーテキストの改定を進めている旨報告がなされた。また、MDIC 認定委員会を装った迷惑メールが 6 月初旬より不正に送信され、メールアドレスを変更することにより解決・対処した旨報告がなされた。

10) 事業体部会（松原部会長）

委員長より、8 月 4 日に開催を予定している 2022 年度第 2 回事業体部会で、第 97 回大会の反省ならびに次回第 98 回大会に向けての準備、また一年間の活動を通じて将来構想委員会ともタイアップし展示以外で何が事業体部会として活動出来ないか等検討していく旨報告がなされた。

11) 関係団体

(1) (一財) 日本医科器械資料保存協会（事務局）

特に無し

(2) 日本医学会/日本医学会連合（高階理事長）

① 評 議 員（担当 高階理事長）

② 連 絡 委 員（担当 南理事）

③ 用 語 委 員（担当 深柄理事）

④ 用語代委員（担当 住谷理事）

特に無し

(3) 日本臨床検査標準協議会 理事（矢富理事）

特に無し

(4) (公財) 医療機器センター 理事（高階理事長）

特に無し

12) 財務委員会（福田委員長）

(1) 2022 年 4 月 1 日～6 月 30 日の収支および予算状況

委員長より、資料に基づき 2022 年 4 月から 6 月までの収支状況と 2022 年度予算対比について報告がなされた。

13) 利益相反委員会（安原委員長）

特に無し

14) 倫理委員会（高橋委員長）

特に無し

15) 滅菌管理業務検討委員会（深柄委員長）

委員長より、滅菌管理部門の教育ツールを現在作成中であること、全国中材研との意見交換を定例ミーティングとして実施して行くこと、「洗浄・消毒・滅菌を行うにあたり添付文書の内容が不適切だと考えられる医療機器の報告書」については、既に十数件情報が寄せられているので委員会内で内容を検討していく旨報告がなされた。また、「医療現場における滅菌保証のための施設評価ツール」を利用してホームページよりデータ入力することで、更に詳細な状況把握が出来るよう、現在ホームページ更新の準備を進

めている旨報告があった。

16) 100周年記念行事実行委員会（安原委員長）

下段4にて報告。

3. 第97回大会結果報告および今後の学会大会開催予定について

1) 第97回大会（2022年6月2日～4日：パシフィコ横浜）結果報告

（住谷大会長/松原事業体部会長/事務局）

(1) 大会概要報告(住谷大会長・松原事業体部会長)

大会長より、第97回大会全体の総括があり、現地参加（学術と展示合算）は2,000人弱、マネージメントセミナーも400名強の参加、Webによる視聴参加では12,000件を超えるアクセスを数え、大会運営に当たり、理事や事務局その他大会関係者に対し感謝の意を表された。また、事業体部会長より、メディカルショーの総括があり、3年振りの実開催となった今回、企業出展社数はコロナ禍でも通常同等の59社と善戦したものの、現状の企業会員数からしてもまだ出展企業が少ないなど、次回の大会に向けてPR活動を推進して行く旨報告があった。

(2) 参加登録者数・大会収支報告（事務局）

事務局より、資料に基づき大会収支報告があり、前回・前々回は、オンデマンドのみでの開催であったが、今大会は、実開催プラス後日オンデマンド配信という当学会初の形式で実施、当初の予算作成時に見込み出来なかった諸費用の積上げがかさみ、結果として収支がマイナスに転じたこと、また、一方で横浜市より助成金を受けているので最終収支は略+/-ゼロとなった旨報告がなされた。

2) 第98回大会（2023年6月29日～7月1日：パシフィコ横浜）（深柄大会長）

第98回大会長より、テーマは「現状を把握してみんなでステップアップ」とし、開催形式については、第97回大会同様、実開催プラス後日オンデマンド配信によるハイブリット開催を予定している旨報告がなされた。

3) 第99回大会（2024年6月20日～22日：パシフィコ横浜）（林大会長）

第99回大会長より、第97回大会の結果と次回第98回大会への支援を通じた経験を踏まえ大会を成功させたい旨発言があった。

4. 100周年記念行事について(安原委員長)

1) 100周年記念式典・祝賀会開催について

委員長より、100周年記念式典の開催、記念誌の発行、記念(新規)事業についてこの理事会で方向性について確定したい旨説明あり、記念式典については、議論の結果、リアル開催を軸に考えることで参加者一同これを確認・承認した。開催時期については、学会大会の時期と分けて考えること、時期は9月から11月頃とし、霞ヶ関からアクセスし易い場所（ホテル）での開催とし、現状の見積り入手先から更に1、2候補増やし、参加者数についても200～300名程度とする。開催ホテル先については、見積り期限の関係もあり、100周年記念委員会や事務局の一任で進めることで一同承認した。

2) 100周年記念誌発行について

記念誌発行については、委員会の中でどのような選択肢があるか検討し、記念誌発行に向けたタイムスケジュールを策定して、寄稿についても誰にするのか等を委員会の中で

決めることで一同承認した。

また、100周年記念(新規)事業に関しては、記念ロゴや記念品作成等に向けて様々な意見を更に募ることとした。

5. 「医療機器学(仮称)出版WGの進捗」

理事長より、WG活動として、出版社に既に声掛けし同社内で稟議中であること、また、誰をターゲットとした出版物にするか、および発行部数についても課題があり、ビジネスモデルとして成り立つかどうかを検討している旨報告があった。

6. その他

理事長より、事務局員1名の退職に関する件、また、今後の事業体部会の活動の方向性について報告があった。

1) 次回理事会の予定

(1) 2022年度第3回理事会開催日時：2022年12月16日(金)15:00～17:00(予定)

場所：医科器械会館2階 セミナーホール

年末役員懇親会開催日時：2022年12月16日(金)17:30～19:30(予定)

場所：未定

(2) 2022年度第4回理事会開催日時：2023年3月31日(金)15:00～17:00(予定)

場所：医科器械会館2階 セミナーホール

6. 閉会宣言(理事長)

その他の議題や質疑応答等がないことを確認し、議長が、17時25分閉会宣言をした。

以上

(議事録署名人)

上記議事の経過の要領およびその結果を明確にするため本議事録を作成し、理事長および出席監事2名がこれに署名する。

2022年7月15日

議事録署名人

(高階 雅紀 理事長)

議事録署名人

(新 秀直 監事)

議事録署名人

(本田 宏志 監事)